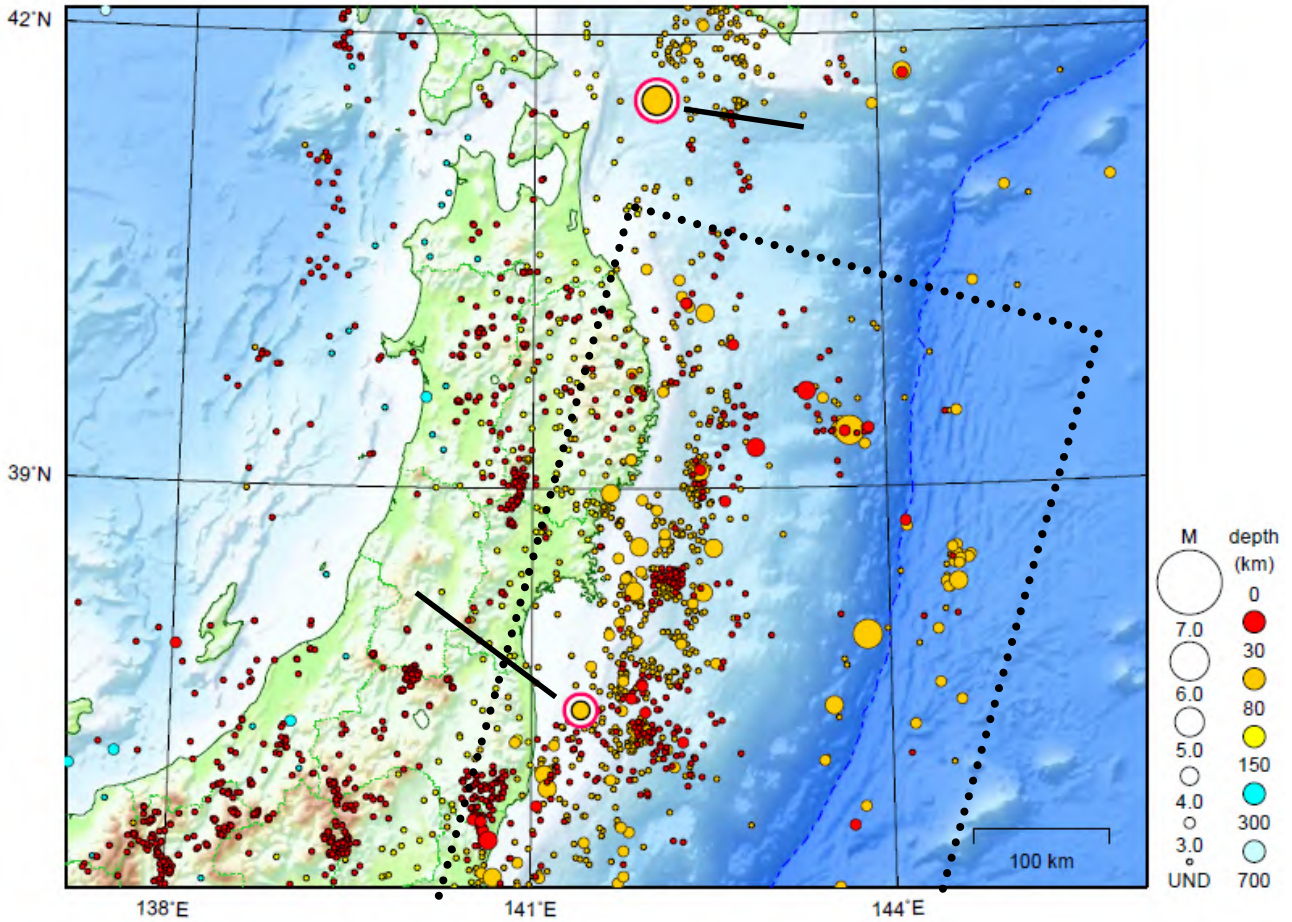


東北地方

2015/11/01 00:00 ~ 2015/11/30 24:00

N=2510



点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

11 月中に、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域内では M5.0 以上の地震が 2 回発生した（関東・中部地方も参照）。また、最大震度 4 以上を観測する地震が 2 回発生した。

以下の の地震活動は、東北地方太平洋沖地震の余震域内で発生した。

11 月 1 日に青森県東方沖で M5.2 の地震（最大震度 3）が発生した。

情報発表に用いた震央地名は（浦河沖）である。

11 月 19 日に福島県沖で M4.9 の地震（最大震度 4）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸地で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余震活動

2015 年 11 月は、領域 a（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の震源域及び海溝軸の東側を含む震源域の外側）で M5.0 以上の地震は 2 回発生した。また、最大震度 4 以上を観測する地震は 2 回発生した。

2011 年 3 月 11 日に発生した「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震活動は次第に少なくなっているものの、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な地震活動が継続している。

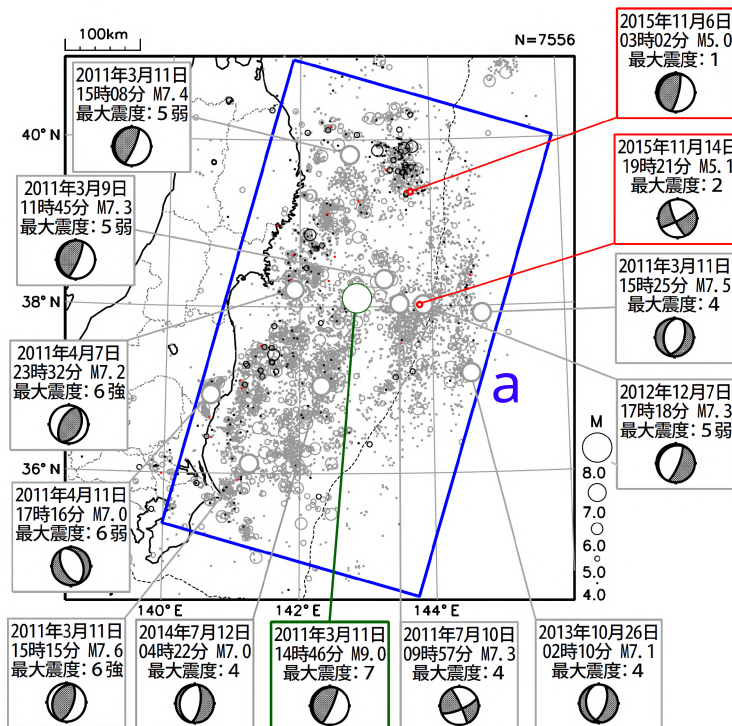
領域 a で 2015 年 11 月に発生した M5.0 以上の地震は以下のとおり。

2015年11月に領域 a 内で発生した M5.0以上の地震

発生日時	震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構（CMT解）
11月06日 03時02分	三陸沖	5.0	4.6	1	西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型
11月14日 19時21分	三陸沖	5.1	5.0	2	西北西 - 東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型

震央分布図

（2011 年 3 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、深さすべて、M 4.0）
 2011 年 3 月からの地震を薄く、2014 年 11 月から 2015 年 10 月の地震を濃く、
 2015 年 11 月の地震を赤く表示。発震機構は CMT 解。



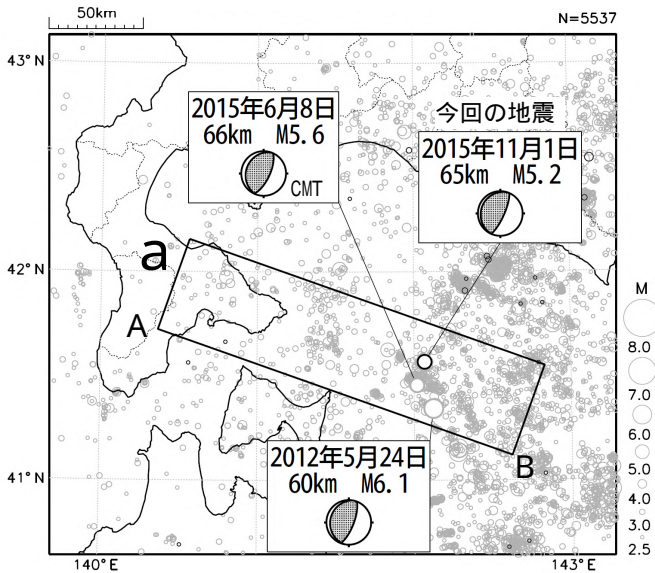
領域 a 内の M7.0 以上の地震と
 2015 年 11 月に発生した M5.0
 以上の地震に吹き出しをつけた。



11月1日 青森県東方沖の地震

情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕である。

震央分布図
(1997年10月1日~2015年11月30日、
深さ0~150km、M 2.5)
2015年11月の地震を濃く表示

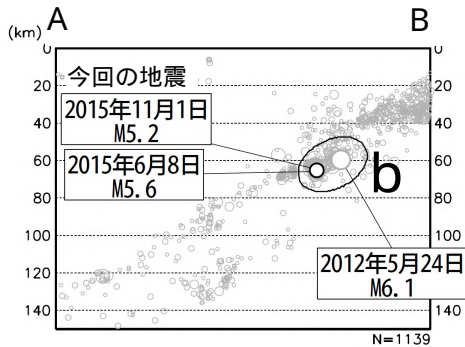


2015年11月1日12時48分に青森県東方沖の深さ65kmでM5.2の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

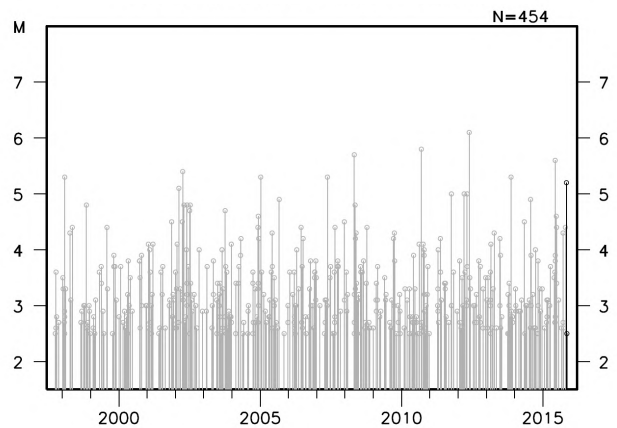
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺 (領域b) では、M5.0以上の地震がしばしば発生しており、最近では2012年5月24日にM6.1 (最大震度5強)、2015年6月8日にM5.6 (最大震度4) の地震が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震がしばしば発生しており、最大規模の地震は1968年5月16日に発生したM7.5の地震 (最大震度5、「1968年十勝沖地震」(M7.9) の最大余震) である。なお、「1968年十勝沖地震」では、死者52人、負傷者330人、建物全壊673棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

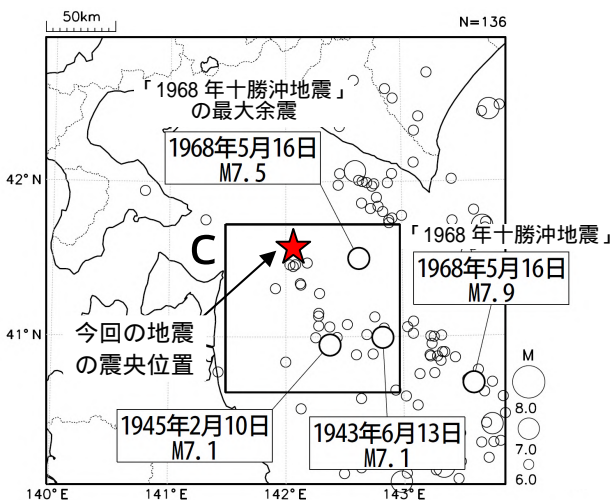
領域a内の断面図 (A-B投影)



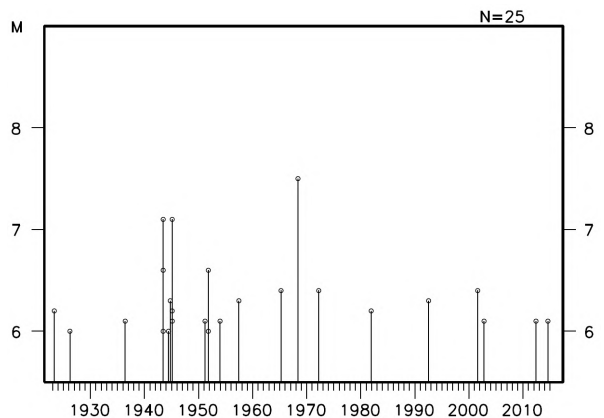
領域b内のM-T図



震央分布図
(1923年1月1日~2015年11月30日、
深さ0~150km、M 6.0)



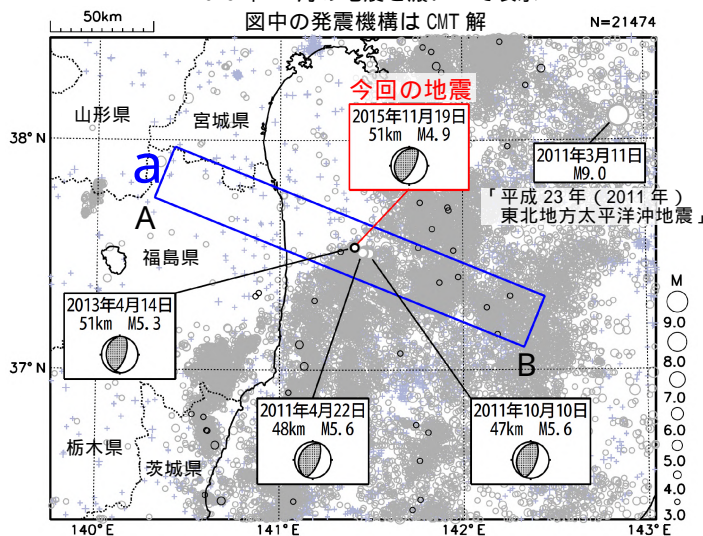
領域c内のM-T図



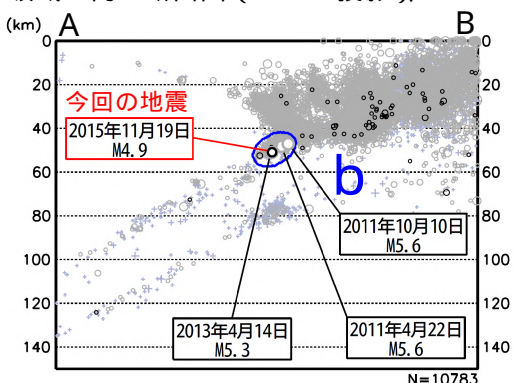
11月19日 福島県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2015年11月30日、
深さ0～150km、M 3.0)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い、
2015年11月の地震を濃い で表示

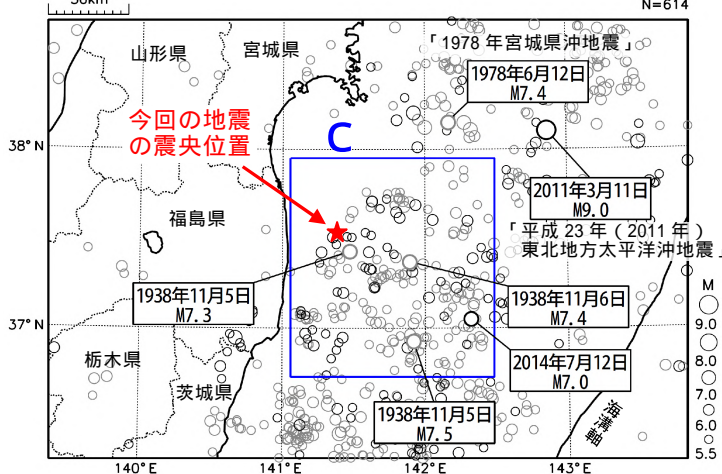


領域 a 内の断面図 (A - B 投影) M 2.0



震央分布図
(1923年1月1日～2015年11月30日、
深さ0～150km、M 5.5)

2011年3月11日以降の地震を濃く表示

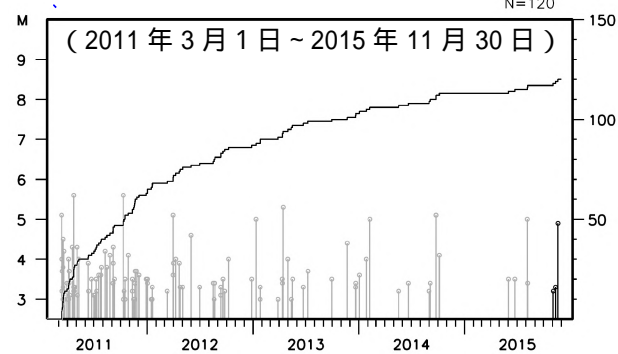
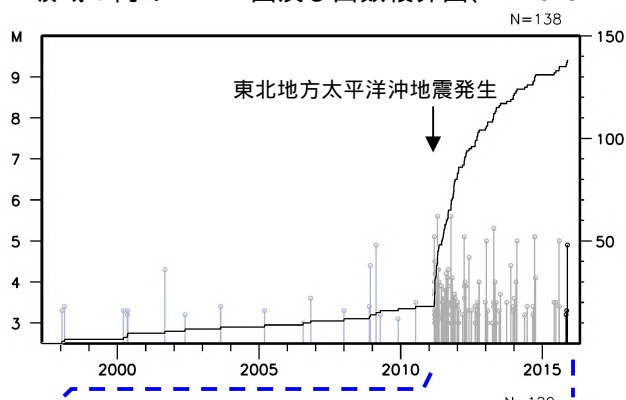


2015年11月19日18時33分に福島県沖の深さ51kmでM4.9の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動が活発化しており、M5.0以上の地震がしばしば発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1938年11月5日にM7.5の地震が発生し、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた。また、この地震により、宮城県花洲で113cm(全振幅)の津波が観測された(「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M - T 図及び回数積算図、M 3.0



領域 c 内の M - T 図

